

KPI修正案（基本目標1）

KPIが妥当であるかの判断基準

- ・ 具体的な事業目的に対して、進捗状況を測ることができる数値であるか。
- ・ 市の事業の内容や実施状況によって変動する数値であるか。
- ・ 指標の変動から事業の内容や実施状況を検証し、具体的に改善することができる数値であるか。
- ・ 指標設定後、現状に合わせて、各指標が適切に機能していることについて、検証が可能なものであるか。

基本目標1「子どもや女性が活躍するまちを創る」

【数値目標】

学校に行くのが楽しいと思う児童生徒の割合（％）

女性の働く場や機会に対する満足度（％）

【KPI】

小中学校教育の充実に対する満足度（％）

・ 市民意識調査の一項目

教員のICT活用指導力（％）

大学連携事業の実施件数（件）

安心して子育てできる環境であると感じる市民の割合（％）

・ 市民意識調査の一項目

家庭生活における男女の地位が平等と思う市民の割合（％）

・ 市民意識調査の一項目

職場における男女の地位が平等と思う市民の割合（％）

・ 市民意識調査の一項目

施策
1
|
1

施策
1
|
2

●追加KPIの選定理由

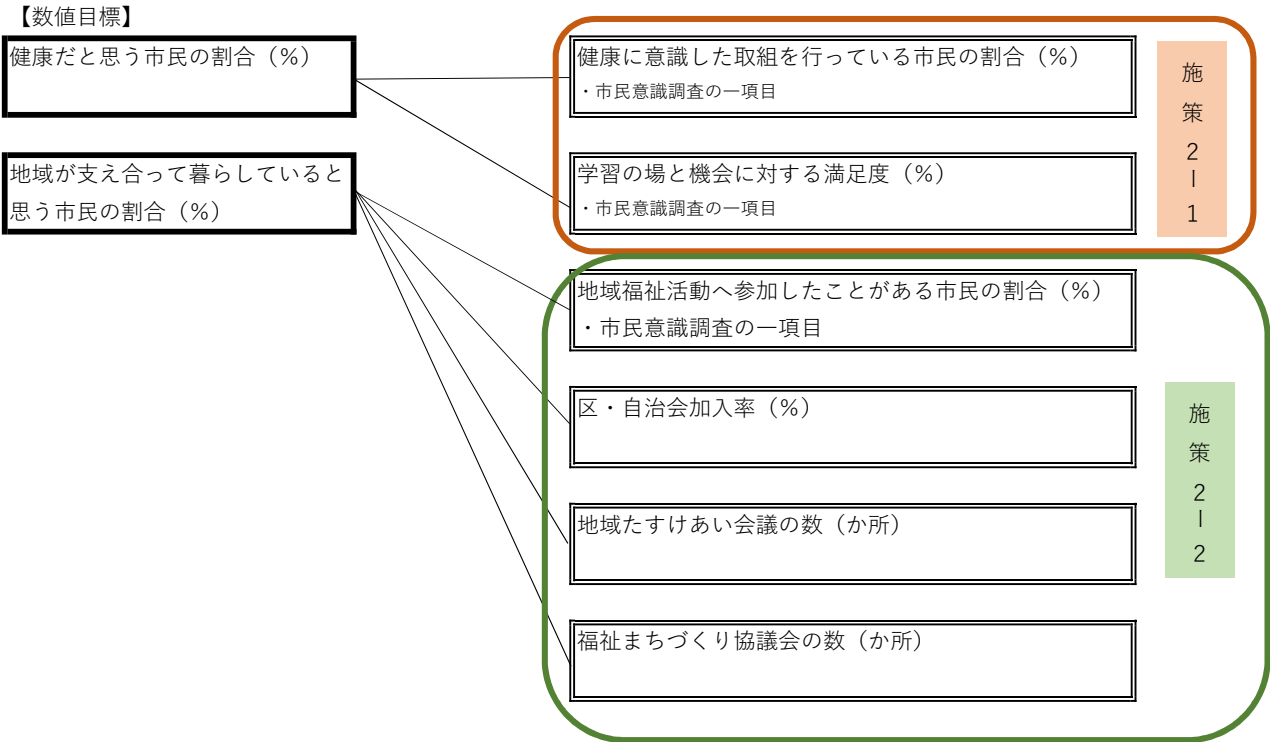
<p>施策1-1</p>	<p>子ども向け生涯学習事業参加人数</p>	<p>学校で過ごす多くの時間は様々な科目を学習する時間である。この時間を楽しく過ごすことができれば数値目標の改善に繋がる。しかし、学校の授業で学習する内容はどんなことに役立ち、応用できるのかまで想像することが難しく、内容の理解や宿題が負担と感じ楽しさを見いだせていない。子ども向けに行ってる生涯学習講座で楽しく学ぶこと、学習の意味や意義を見つけることができれば、学校の授業に積極的に参加するようになり、学校へ楽しく通える児童生徒が増加すると考える。</p>
<p>施策1-2</p>	<p>保育園及び放課後児童クラブの待機児童数（人）</p>	<p>働く意欲はあるが、子どもを預ける場所がないという問題を解決するべくKPIに設定する。子育てを理由に仕事を断念することがないように、待機児童数ゼロを目標とし、子育てをしながら働ける環境を整え、女性の社会進出向上を図る。</p>

KPI修正案(基本目標2)

KPIが妥当であるかの判断基準

- ・ 具体的な事業目的に対して、進捗状況を測ることができる数値であるか。
- ・ 市の事業の内容や実施状況によって変動する数値であるか。
- ・ 指標の変動から事業の内容や実施状況を検証し、具体的に改善することができる数値であるか。
- ・ 指標設定後、現状に合わせて、各指標が適切に機能していることについて、検証が可能なものであるか。

基本目標2「だれもが健康で長生きできるまち・地域共生社会を創る」 【KPI】



●追加KPIの選定理由

施策2-1	栄養パトロール実施件数	介護予防、フレイル（加齢により体や心のはたらきや、社会的なつながりが弱くなった状態）対策の一環として、病院に掛かっていない健康不明な後期高齢者の自宅に管理栄養士が訪問し、生活基盤となる「食」について、リスクがある者への専門的支援を行い、フレイル予防・QOL（生活の質）の向上を図る。また、今まで実態把握ができていなかった健康不明な後期高齢者宅に訪問することで、普段の生活状況を行政が把握し、地域包括支援センターや医療機関等と連携し、適切なサポートを提案することができる。
-------	-------------	---